

ツアーレポ (モーニング娘。コンサートツアー2008 春 シングル大全集!!!)  
at 松戸 森のホール21 大ホール on 2008. 3. 22 昼公演分



お待たせしましたあ〜。それでは春ツアーの初日・22日昼公演のレポです〜！  
(それにしてもこの会場は・・・駅からホント遠かったですね・・・(汗))

### 01. リゾナント ブルー

**4/16**に発売される、通算**36枚目**のシングル。今までの娘。の曲には珍しいリズム系重視のダンスソング。現状でまだPVしか流れてなく、しかも一部のメンバーはあまり映ってないこともあって、各メンバーごとの振りをこのステージで確認できたような気がします。こういう場合、意外と実践の場で覚える方が早かったりするんですよね。ガキさんは・・・ソロパートが少なめなもの、ダンスの見せ場はあって、カッコいいです！

### 02. 女に 幸あれ(34th/2007. 7 発売)

こちらは9人娘。になって最初のナンバー。激しい曲調の中、みんなで手を上げたり、メンバーになりきってたりと・・・初回にしてはこっちがパートを揃えてたような気がしました。きっとステージ上の彼女達ものっけから喜んでくれるコトでしょう。

### 03. MC 1

ステージ上には左から、ガキさん→ジュンジュン→みっつい→さゆみん→れいなちゃん→小春ちゃん→えりりん→リンリン→愛ちゃんの順に揃うメンバー達。今回はまず愛ちゃんが口火を切り、「**森のホール21**にお集まりのみなさん、モーニング娘。です！」全員でご挨拶を済ませると、まずはガキさんから「4/16発売になる”リゾナント ブルー”で華々しく幕を開けました！モーニング娘。コンサートツアー2008 春 シングル大全集う〜 Yeah!!!」と

早速場内に気合いを入れる姿が。大歓声が沸く中、「今日はみなさんと楽しいコンサートにしたいと思います！どうぞよろしく！」と元気な笑みがこぼれるのを見て、オイラも「ツアーが始まったんだなあ〜！」って実感してました〜。他のメンバーに目をやると、みつついとさゆみん、小春ちゃんがそれぞれ、学校を卒業できたコト発表して「オトナ宣言」してたり、えりりんは「今日の出逢いを大切に一緒に思い出作りましょう！」と色気のある声で話してたり、はたまたリーダーの愛ちゃんは「(全曲歌うというコトで)めっちゃ気合い入ってます！」と宣言してたりそれぞれに個性のある内容だったと思います。そして、サブリーダーのガキさん、  
「それでは3曲続けて色っぽく参りましょう♪」と爽やかな声が響き渡る・・・。

#### 04. 笑顔 YES ヌード (32nd/2007. 2 発売)

昨年発売された、ガキさんの艶っぽい歌声に印象のあるナンバー。よっすいーパートはえりりん、みきていパートはれいなちゃんがそれぞれ受け持っていました。でもメインはやはりガキさんかな？(数が限られてますからね〜)歌とダンスとともに、彼女の成長をほんといつ見ても感じるんですよ。

#### 05. 色っぽい じれったい (27th/2005. 7 発売)

「早く逢いたい・・・」と、この歌で娘。デビューとなった小春ちゃんゆかりのナンバー。えりりん負けじとウィスパーVoiceを披露しながら2人絡む姿がセクシーですね。でもって当時は斬新だったフラメンコを踊る娘。は、メンバーが入れ替わっても改めてそのスゴさを感じずにはいられないと感じましたよ。

#### 06. 大阪 恋の歌 (26th/2005. 4 発売)

「いつも一緒やったから気付かへんかった・・・」と、最初のセリフは誰が言うのかと気になってはいたのですが、結局、同じ関西出身のみつついに落ちつく！個人的にはお気に入りですね。やはりリアリティがあるというか、アクセントとか全然違いますから・・・(^)。あとは、ガキさんが高音の効くやぐっちゃんのパートを引き継いでいた所も見逃せない点ですね。以前と比べて声が伸びるようになったので・・・今後は楽しみです！

#### 07. MC 2

メンバーがセットにちょこんと座りながらのMCに。ここではシングル1曲を採りあげて、その曲にまつわるメンバーの思い出を話していくコーナーに。今回のテーマは、『LOVEマシーン』に。愛ちゃんが「何かある人！」と言ってメンバーや一部のファンから「は〜い！！」と挙手・・・。そして指名されたのはみつついに。みつついーが小学校4年くらいの時、お姉ちゃんがその振りを体育祭で踊ったらしく、その練習の時に、一緒に誘われて、デパート屋上の広場(?)でやってたらしく、その時にお姉ちゃんからみつついーにアドバイスやダメ出し「ここアカンやん！」etcをいっぱいしてもらっていたという話を披露。愛ちゃんから「じゃもう(この曲の)振りは完璧なんだ？」と聞かれ、「ですね〜！」とレスするみつついー。愛ちゃんの隣に居たガキさんが「おおっ！」とニッコリしながら返してましたね。続いて指名を受けたのはさゆみん。はじめに「いつまでも”現役の高校生！”って言ってられないんですけどお〜」と言って笑いを誘ってました。で彼女は2005年の紅白でOGメンバーと一緒に19人で歌った時のコトを話してました。ただ・・・「OGメンバーが放つオーラ」と言えば良い所を、「威圧感」とかちょっと”黒い???”な部分も生で聴けて・・・そこは彼女の的に美味しい役回りだったような気がします。

## 08. 悲しみトワイライト (33rd/2007. 4 発売)

このナンバーはまだ新しいコトもあり、みきてい pt をれいなちゃんが、そしてセリフ部分を愛ちゃんを受け持っているのですが、なんととってもロックに合わせての激しい動きがすごく印象に残ってますね。さすがにヘアスタイルはジャケットのようにはいかないまでも・・・。

## 09. Ambitious ! 野心的でいいじゃん (30th/2006. 6 発売)

最近の Live では定番かつ頻出のナンバー。一緒に手を振り上げ踊っていると・・・楽しいのはもちろんですが、メンバーの大変さがよく解るといえるか・・・スゴさに驚かされますね。ガキさんの「ひとりじゃないぜ〜！」の部分はいつもテンションうえうえ♪になっちゃいます♪

## 10. 浪漫 -MY DEAR BOY- (22nd/2004. 5 発売)

ハードなナンバーが続く中、この曲が流れるとテンション上がりまくるんですよ〜。オリジナルを知ってるオイラにはちょっと懐かしさを感じるのですが、勢いはほんと色あせてない印象ですね。

## 11. Do it!Now (15th/2002. 7 発売) <Vo. 高橋 愛>

ここからメンバー feat. でのナンバーに。まずは歌・ダンスともにトップレベルの位置に居る愛ちゃんから。オリジナルの振りでは無いものの、足がスゴイ所まで上がったりして歓声が沸いてましたが、ほんと 1 人ステージに立つと貫禄あるんですよ。でもってこの歌のヤマである RAP 部分は、愛ちゃんを除く 8 人が、それぞれのカラーに染まるドレスで登場。

## 12. Mr. Moonlight -愛のビックバンド- (13th/2001. 11 発売)

ココは・・・やはり最初の「あ〜い〜を〜く〜だ〜さ〜い〜♪」ですね(笑)。そうです！緑のドレス姿のガキさんがステージ右方で言ってるんです！すっかりオトナっぽくなった彼女ですが、やはり懐かしさを感じるんですね。これが“第一唱”なだけに・・・そして、気になる“男役”の方は・・・予想できた人も多いと思いますがそう！真っ白な衣裳に身を包んだ王子様に扮した愛ちゃんだったんです！これはめっちゃカッコ良かったですね。でもってその王子様に一目惚れしてるガキさんの表情がこれまた良くて・・・ほんと愛らしかったですね〜(\*^\*)。

## 13. ふるさと (6th/1999. 7 発売) <Vo. 道重さゆみ>

ステージ左に座って歌う彼女。娘。に入る頃は満足に歌えず苦労していた頃を思い出しますね。

## 14. 涙がとまらない放課後 (24th/2004. 11 発売) <Vo. 亀井絵里>

普段はカワイイ声で話す彼女ですが、このようにソロで歌ってみるとちょうど良い、色気の混じり合った歌声になるんですね。先述のさゆみん同様、こういう機会が良い自信になるといいなあ・・・って聴いてて感じましたね。

### 15. Memory -青春の光-(4th/1999.2 発売) <Vo. 田中れいな>

FC限定のDVD「ベストショット」の再現では無いですが(あの時は確か観覧車の中だったので)、なんだか嬉しかったですね。ここ最近のシングルでメインパートを受け持つこともあって声の表現力(強弱や情感を込めたり etc)が少しずつ変化していったような気がしますね。

### 16. 真夏の光線(5th/1999.5 発売) <Vo. 新垣里沙>

「Ah～この夏はあ～・・・♪」と元気な声が場内にこだまする・・・。ガキさんのソロは10年ツアーでもあったのですが、ここまで明るい(しかもオリジナルはなっちソロ状態!)歌声が聴けるコトがすごく嬉しかったですね。ゴキゲンな彼女の表情とも相まって盛り上がりを見せていました!普段は落ちついた彼女の歌声ですが、こうして聴くとまた1つ魅力が増したようで・・・このツアー前半のヤマ場ですね(笑)

### 17. AS FOR ONE DAY(18th/2003.4 発売)

歌い出しのさゆを筆頭にここから再び全員ステージに。Liveでは久しぶりの披露ですが、メンバーが変わってもお馴染みの綺麗なターンは素敵ですよ～。ちなみにガキさんはこのナンバーでもやぐっちゃんのパートを引継いでます♪ここまで任されるようになると・・・Liveの楽しみはほんと尽きない限りですね。

### 18. サマーナイトタウン(2nd/1999.5 発売)

お次は懐かしいナンバーに。ちょうど娘。が5→8人になってからということもあり、今の9人娘。を見てちょっと懐かしく思いましたね。ガキさんの振りを見て、「きっとガキさんもこの頃のセンパイ達に憧れていたんだあ・・・」としみじみ思っていましたよ。だって・・・娘。メンバーにしてファンですからね～。

### 19. MC 3 <亀井絵里&道重さゆみ&田中れいな>

昨年秋のBOMBツアー同様に6期メンバー3人が登場。仕切りはえりりん。テーマは1年いろんな記念日があるということで、『今日は何の日』。要はLive当日が何の日かについてトークを展開するコーナー。でもいきなりこの質問を振られて、「知らんし・・・」と素に戻るれいなちゃん。さゆみんが嬉しそうに「わかった!」挙手すると・・・「はい、ハズレ～!もう、「自分がカワイイ!」とかはナシで!」とあっさり否定するえりりん。すると「その通り!」とさゆみんが返す・・・(えりりんから「ヒントは“聴く””と言ってるのに「うさちゃんピース!」と答える・・・。確かに22日なのでまんざらハズレでも無いですが^^)。こんな感じのやりとりが続き、2人が思いつかないまま正解は・・・「ラジオの日」。1923年3月22日にラジオ放送が始まったのを記念して制定された日。コーナー自体はお勉強っぽい感じですが、回が進むごとに、前回のBOMBツアー同様さゆみんのペースに乗っ取られそうな予感のするコーナーでした。そして6期3人の紹介で登場するのは・・・真っ赤なチェックのミニスカートをはいた4人が登場!ハイテンションな声でHi!Everybody～(Yeah!)♪

## 20. モーニング娘。のひょっこりひょうたん島(17th/2003. 2 発売)

〈Vo. 久住小春&光井愛佳&ジュンジュン&リンリン〉

こちらは 2003 年に発売され、NHK「みんなのうた」でもオンエアされたコミカルなPVが話題を呼んだ娘。初のカバーソング。ただ・・・本来主役の小春ちゃんが歌い出しから何度か音程はずしていたのが少々気になっちゃいました。

## 21. モーニングコーヒー (Debut/1998. 1. 28 発売)

〈Vo. 高橋 愛&新垣里沙&亀井絵里&道重さゆみ&田中れいな〉

こちらはお姉さんチーム5人でデビュー曲を熱唱！この歌を5人で歌うコトは予想してたのですが、“ゴロッキーズ”揃ってというのはちょっと意表突かれました(笑)。でも表情とか可愛らしくて・・・この5人でリリースしてもいいくらい意気ピッパリだったと思います。あっ、ちゃんとハマりもありますよ～！

## 22-25. 娘。メドレー I

抱いて HOLD ON ME!(3rd/1998. 9)→直感 2 -逃した魚は大きいぞ！-(28th/2005. 11)→SEXYBOY -そよ風に寄り添って-(29th/2006. 3)→女子かしまし物語(23rd/2004. 7)

再び9人揃った所で最初のメドレーがスタート。最初はRAP部分から始まり、「直感2」ではアルバム“レインボー7”の mix バージョンでテンションうえうえ♪になって・・・、でもって「かしまし・・・」ではステージ中央のディスプレイにスロットタイプのルーレットで毎回1人が選ばれ、いわば“フィーチャリング”状態で1choのみ歌うというスタイル。この回ではジュンジュンでした。

## 26. Go Girl -恋のヴィクトリー-(20th/2003. 11 発売)

今やLiveには欠かせなくなった元気なナンバー。一緒に踊っていると彼女達との一体感がすぐ出てくるんですよ～。ほんと虜になっちゃいますね。

## 27. MC 4 〈新垣里沙&亀井絵里&ジュンジュン&リンリン〉

今回のLiveは5月に初の海外公演(台湾)が行われるのを見越してかどうかは・・・ですが、Liveの楽しさ・嬉しさをジュンジュン&リンリンの2人が母国語で話し、それをGAKIKAMEの2人が対話しながら和訳・解説するというもの。途中ガキさんも一緒になって覚えてたながら交えるシーンも・・・。こんな試みは娘。コン始まって以来ということで、今度アドリブで何かあるのかどうか・・・楽しみな所です！

## 28. THE マンパワー!!! (25th/2005. 1 発売)

Liveで歌うたびにパート割りが変わってるような印象を受けるのですが、今回もそれで、よっすいーが抜けた分をガキさんが引き継ぐ形で愛ちゃんとともにリードしていく・・・。現在の娘。を象徴してますよね～。

## 29. シャボン玉 (19th/2003. 7 発売)

6期メンバー初参加のシングル。発売からおよそ5年が経過する中、メインパートがそれほど変わっていない貴重なナンバーですね。もちろん、最初のれいなちゃんが歌う「愛する人はあなただけ～！！」の所は推しによっていろいろ言い換えたりして・・・激しいけれどいろいろ楽しめるナンバーだと思います！

### 30. MC 5

ここでまず愛ちゃんが登場。「既に後半に入ってるんですけど、「あの曲まだかよっ！」って思ってたっしやる方も居ると思うんですよ。でも大丈夫です！ここからは・・・いろんな曲をドドドド・・・!!!とメドレーにしてお届けしていきます！モーニング娘。のコンサート史上最も長いメドレーでお楽しみ下さいい～！」と気合いを入れる・・・。メンバー全員が揃い、続けて愛ちゃんが、「途中で「あ～疲れちゃった！」とか「ちょっと座りたい・・・」と思ったら、座って楽しんでいただいても大丈夫ですので・・・！」と、どんなスタイルでもいいから『みんなで楽しもうよお～！』と誘われてる感じで(一部では「え～っ！」って声も挙がりましたが)これぞLive だなんて感激してましたね。

### 31-36. 娘。メドレーII

I WISH(10th/2000.9 発売)→ハッピーサマーウェディング(9th/2000.5 発売)→恋のダンスサイト(8th/2000.2 発売)→そうだ！We're ALIVE(14th/2002.2 発売)→ザ☆ピース(12th/2001.7 発売)→恋愛レボリューション21(11en/2000.12 発売)

確かに「長っ(汗)」と今考えれば思うのですが、Live だと不思議とあまり長くは感じなかったですね。それにしてもファン歴かなり長い(ってか最初の頃から^^)ですが、ちょこっと曲を聴くだけで・・・体って覚えているモンなんですよ。多少の変化はちゃんと現場についていってる感じで・・・。個人的には昔よりも現在の方が体力とかちゃんについているんだ・・・ってのがほんとに実感できるんですよ～。やっぱ行き慣れてるというのもあるんでしょうか・・・。ガキさんも過去ソングながらちゃんとメインというカリードする側に回る歌が多くて・・・ほんと娘。メンバーでありファンでもあるので・・・きっと歌い踊りながらその嬉しさを感じているコトでしょうね。

### 37. MC 6

長大なメドレーの後ということでおイラもすごく汗だくになりながら・・・、でもそれほど息切れとかしていない彼女達のスゴさを感じながらさらに気合いが入って・・・いよいよラストスパートに突入です♪

### 38. ここにいるぜえ！(16th/2002.11 発売)

直前に「私たちは今・・・ここにいるぜえ！」とお馴染みの気合い入れで始まるこのナンバーは今回の全 36 曲中で一番多くジャンプしたナンバーです！この段階で(初回ということもあって)めっちゃ疲れてるのですが、なぜか体はそんなのを感じないような力が不思議と出てくるんですね。ほんと彼女達には脱帽ですよ～！

### 39. みかん(35th/2007.11 発売)

全 36 曲のうち、唯一と言っても良いくらい振りを現場で覚えた歌といえばこのナンバー。まだ新しい歌ということもあり、会場内で(個人的に)イチバン揃ってたような気がしました。右手を高々と挙げて、跳んで、動いて・・・とまさに娘。コンの醍醐味をイッキに味わってる印象ですね。

#### 40. 歩いてる (31st/2006.11 発売)

全36曲中、オイラが彼女達から一番元気をもらった大切なナンバー。「一人じゃないから・・・」、「みんなが居るから・・・」など、しみじみと聴きながら歌詞1つ1つをじっくり味わって聴いていると、「ほんとにみんなと出会えて良かったなあ・・・」って思うんですよ。そんな心暖まる歌に見送られながら・・・ひとまずステージは終了。彼女達が大歓声に見送られながら捌けていきます・・・。

#### Enc01. MC 7

ステージには再び、ガキさん→ジュンジュン→みっついー→さゆみん→れいなちゃん→小春ちゃん→えりりん→リンリン→愛ちゃんの順に並んで登場。衣裳はガキさん、ジュンジュン、リンリン、みっついーの4人がピンクの、残りのメンバーがスカイブルーの、名前入りTシャツを着て(下はデニムのスカートやキュロットだったりで・・・)登場。まずガキさんから「・・・残すところあと2曲となりました～！」があると「え～～～!!!」と場内が沸く。続けて「ありがとうございます。モーニング娘。の歴史を感じる約2時間、ホントに楽しい時間でした！どうもありがとうございます！」と元気で可愛らしいガキさんスマイルのおかげですっかりこちらも元気が戻ってきましたね。れいなちゃんは「やっぱLiveはやめられないね～！」とか、「これからも日々成長し続けるモーニング娘。に期待して下さい！」と、現リーダーの愛ちゃんがカッコよくキメてたりしてるのを見てると、女の子だけだすごく逞しく感じるんですよ。

・・・でもって・・・ラジオで一発ギャグを披露すると公約したさゆみん、とりあえずこの回では言っていなかったので次回以降に期待♪ですね。

#### Enc02. 愛あそばさ IT'S ALL RIGHT (21st/2004.1 発売)

娘。ソングの中では、先の「歩いてる」と同様、歌詞1つ1つがすごく惹かれるナンバーですね。発売時期の頃(ちょうどなつちが卒業という所)も思い出しながら・・・聴き入りました。娘。の旅立ちソングと言ってもおかしくないと思います！これだけ多くの娘。ソングを聴いているとホントにその時その時の様子などをおぼろげながらも頭の中をよぎりながら・・・。

#### Enc03. LOVE マシン (7th/1999.9 発売)

娘。の長い長い歴史の中で最も売れ、国民的人気を不動のものにしたメガヒットナンバーが大トリに。昨年暮れの紅白以来続く、ガキさんの「ディーアー!!!!」や、娘。ダンスソングの“原点”ともなったあの振りは、発売から約9年経っても色あせることなく続いているんですね。まさに娘。の歴史の長さを本当に感じます！

最後に9人揃ってバンザイをして・・・1人1人の笑顔を見届けながら・・・メンバー達が捌けていき、場内は割れんばかりの大きな歓声と拍手に包まれていきました・・・。

とまあ、こんな感じでなが〜く書いてみましたが、本当に「懐かしく楽しい、でもちょっと疲れた☆カナ？」と感じさせる素敵なLiveでした。ガキさんも言ってましたが、本当に1曲1曲聴くたびに娘。の歴史を、そしてステージの上で歌い踊る彼女達の頑張りを本当に痛感しましたよ〜。現在の曲はもちろん、過去の歌についてもこうして現代に受け継がれている所は、オリジナルには例え及ばなくても、現在の9人で十二分に楽しませてくれて、それがちゃんと伝わっているのも・・・価値ある初戦参戦ができて良かったと思います！ガキさんの的には難しいパートを歌ったり、リードするシーンが多くなったりと、ますます重要な所を任されてる点が嬉しいですね。娘。が大好きな彼女にとっては、去年の10年隊コンの時以上に感慨深いものをきくと、僕達以上に感じてるんでしょうね・・・。

ともあれ、素敵な時間をくれた彼女達に感謝したいですね・・・。「ありがとう・・・!」って・・・。

2008.03.28 from T's Impression. マスター・たあぼう。